

東京都人権プラザ企画展

名越啓介写真展

Humana

保見団地



2018年4月25日(水) — 7月21日(土)

9:30 — 17:30 入場無料

会場：東京都人権プラザ 1階 企画展示室

主催：東京都人権プラザ（指定管理者・公益財団法人東京都人権啓発センター）

ブラジル人約3000人。

1990年入管法改正以降、多国籍な移民労働者を呑み込んだ、愛知県豊田市「保見団地」に3年間の「住み込み」で出会った喜怒哀楽——

ドキュメンタリー 記念。

ブラジル人約3000人。「これからの自由」の萌芽ではなく、「失われゆく自由」の一瞬だった。

愛 知県豊田市にある「保見団地」は、住民の半数近くが日系ブラジル人であるなど、外国にルーツを持つ人々が暮らす多国籍な公営団地です。本展では、この「保見団地」において、写真家・名越啓介氏が住民と生活を共にし、3年間にわたりその日常を撮影した作品を展示します。本展を通して、多様な人々が共に生きる際に生じる葛藤や困難さ、そしてそれらを乗り越えるためのヒントなどを感じていただき、どうしたら「ダイバーシティ」が実現した社会となるのか、皆様とともに考えてみたいと思います。

東京都人権プラザ企画展



名越啓介写真展

2018年4月25日(水)ー7月21日(土)
Familia
保見団地
月並みこの黄金



名越啓介 (なごし・けいすけ)

1977年奈良県生まれ。大阪芸術大学卒。過去にリリースした写真集に、「EXCUSE ME」(TOKIMEKI パブリッシング)、「CHICANO」(東京キララ社)、「THE BLOOD OF REBIRTH」(USEN)、「SMOKEY MOUNTAIN」(赤々舎)、「笑う、避難所」(集英社新書)、「BLUE FIRE」(少年写真クラブ)、「Sing Your Own Story 山口富士夫写真集」(ロフトブックス)、「Familia 保見団地」(Vice Media Japan) などがある。



東京都人権プラザ
(指定管理者：(公財)東京都人権啓発センター)

トークセッション

名越啓介×崎山敏也(TBSラジオ放送記者)

5月26日(土)14:00~16:00

スライドトーク

名越啓介×川田洋平(編集者)

6月16日(土)14:00~16:00

場所：東京都人権プラザセミナールーム

申込不要／無料／定員80名(先着順)

情報保障あり(要問合せ)／託児保育(要事前申込)



東京都人権プラザ 1 階 企画展示室

所在地：〒105-0014 東京都港区芝 2-5-6 芝 256 スクエアビル 1 階

開館時間：9 時 30 分～17 時 30 分

休館日：日曜日

お問い合わせ：東京都人権プラザ Tel：03-6722-0123 Fax：03-6722-0084

E-mail：tenji@tokyo-jinken.or.jp URL：www.tokyo-hrp.jp

【交通案内】

●都営三田線「芝公園駅」A1 出口徒歩 3 分

※車いす・ベビーカー等ご使用の方は A3 出口エレベーターをご利用ください。

●都営浅草線・大江戸線「大門駅」A3 出口徒歩 7 分

●JR・東京モノレール「浜松町駅」金杉橋口徒歩 8 分

主催：東京都人権プラザ (指定管理者：公益財団法人東京都人権啓発センター)